

マーティン・スタンツェライト

ドイツ出身。5歳よりチェロを始める。エッセン国立音楽大学で、ヤンチャン・チョウ氏に師事。同大学を首席で卒業後、ソリストコースでクリストフ・リヒター氏のもとで学ぶほか、ジークフリート・パルム、ハインリヒ・シフ、ヤーノシュ・シュタルケルの各氏に師事。デンマーク王立歌劇場に入団。コペンハーゲン・フィルハーモニー管弦楽団にもチェロ首席奏者として招聘される。1998年、広島交響楽団の首席チェロ奏者に就任。広島交響楽団の定期演奏会ほか各地のオーケストラなどにソリストとして出演するほか、客演首席奏者としての招聘も多い。室内楽奏者としても幅広く活躍している。2011年、地域の文化活動の発展に功績があったとして、財団法人 けんしん育英文化振興財団より、県民文化奨励賞受賞。

2013年、チェロ・ロックバンド「カンターナ」を結成、デビューアルバム「Cellmate」をリリース。2015年には、全曲オリジナル曲による2nd ミニアルバム「A Minor Attitude」をリリース。2015年、CD「Live in Karuizawa」をリリース。

使用楽器は1691年製フランチェスコ・ルジェーリ。